店主のひとりごと

たけしげみゆき

植物を育てるのが下手だ。緑のあるお店に憧れて鉢植えを買ったり譲り受けても、ちゃんと世話しているつもりがいつの間にか枯れている。シカクは日当たりも悪いし休みの日には水をあげることもできないため、植物に適した環境とは言いがたく、私には縁がないのだといつしか諦めていた。

しかしある日、ガーデニングが趣味の母から「とにかく丈夫だ」という鉢植えをもらった。いつかに沖縄で旅行中買った「幸福の木」というもので、1年中外に置いてるだけでなんだか生きているらしい。それをシカクの前に置いてみたら、確かにズボラな私が水やりを頻繁に忘れてもピンピンしている。

調子に乗って「他にも丈夫な植物ない？」と母に聞くと、今度はクワズイモなるものを譲ってくれた。こちらも幸福の木と同じく、適当な世話でも元気に育っていく。ついにシカクも憧れの、緑と共生する書店になったのだと小躍りした。

だがそれから数ヶ月後。幸福の木は縦にどんどん伸び、次第に太陽のほうへ傾いていき、気がついたら強風ですぐ倒れる不幸な木になっていた。クワズイモは無数のひょろひょろした新芽が茎の間から生えてきて、エイリアンのようで気味が悪い。植物を枯らさないことと、センスのいい見た目に育てることは別なのか……。

今もシカクの前には、なんだかパッとしない鉢植えたちが鎮座している。

いろいろ熱烈ぼしゅう中

★シカク月報の配布協力募集！

シカク月報を配ってくれるお店やスペースを募集しています。お礼にチラシやショップカードを送っていただければ、シカクの店頭や通販で配布いたします。

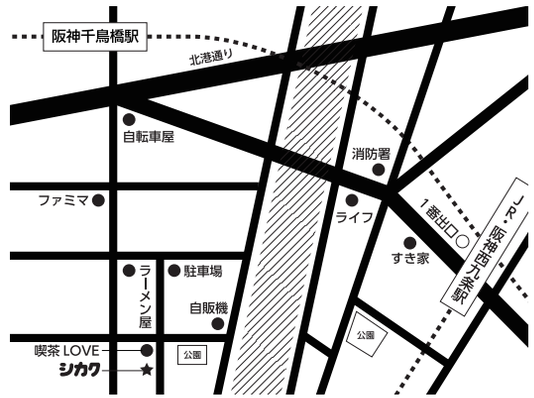
現在の協力店舗さま　模索舎（東京）／BiblioMania（名古屋）／本屋B＆B（東京）／ブックギャラリーポポタム（東京）／FOLK old bookstore（大阪）／古本屋弐拾dB（広島）／花森書林（神戸）／タコシェ（東京）／なんば紅鶴（大阪）／シネ・ヌーヴォ（大阪）／雑貨屋ミケちゃん（大阪）／ホホホ座（京都）／ロフトプラスワンウェスト（大阪）／オソブランコ（大阪）／solaris（大阪）／誠光社（京都）／恵文社（京都）／（本）ぽんぽんぽん（大阪）／トランスポップギャラリー（京都）／マヤルカ古書店（京都）／OF（岡山）／ON READING（名古屋）／古本屋YOMS（香川）／古本ながいひる（岡山）／エフロノット（大阪）／opal times（大阪）／ンケリコ（大阪）／SOMA（大阪）／SPBS本店（東京）／1003（神戸）／TOKYO PiXEL（東京）／FAITH（東京）／画廊モモモグラ（大阪）／喫茶ペーパームーン（静岡）／旧グッゲンハイム邸（神戸）／フレイムハウス（大阪）／ブックバーひつじが（福岡）

★ZINE・同人誌の委託 募集！

シカクではZINE・同人誌のお取り扱いをいつでも募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

★広告募集！

シカク月報に載せる広告を募集しています。一口千円で、個人でも企業でもOKです。詳しくはこの紙の裏面で。



シカク

大阪市此花区梅香1-6-13　火水定休日

平日　14:00〜20:00／土日祝　13:00〜19:00

【Twitter(X)】@n_SHIKAKU

【Instagram】@konohanashikaku

【Website】　http://uguilab.com/shikaku/

リトルプレスと雑貨とギャラリーのお店・シカクが贈る
ニュースとコラムのゆかいなペーパー

シカク月報 2024/02

おどろきの低価格 ¥00

2/2 fri

2/25 sun

BRIDGE SHIP HOUSE 個展 “CLOCK SHIP HOUSE” 開催！

国内外で人気のアーティスト、BRIDGE SHIP HOUSEによるハンドメイドの時計屋さんが大阪初上陸！　数字をつかわず、自由奔放な時針分針が目を離した隙に姿を変えていく時計をつくります。

Event News

古賀及子エッセイ集『気づいたこと、気づかないままのこと』発売！

日記文学の新鋭として各界が注目する古賀及子さんの本格エッセイ集がシカク出版より刊行！　シカクのnoteで連載していたエッセイ＆過去にブログで発表したものに、大胆な加筆修正と書き下ろしを加えた1冊。巻末には作家の長嶋有さんの解説を収録！

さらになんと古賀さんの日記エッセイ集『おくれ毛で風を切れ』(素粒社) も同時発売。いろんな書店で記念フェアも開催します！

2/5 mon ▼ 3月上旬ごろ　古賀及子選書フェア＆しまむらひかりミニ個展＆古賀及子トークイベント

古賀さんの書籍2冊同時刊行を記念し、古賀さんがふだん愛読しすぎている13のエッセイと日記の本をコメントとともに並べるフェアをいろんな書店で開催！

さらにシカクでは、『気づいたこと〜』装画を手がけたしまむらひかりさんの作品やグッズを並べたミニ個展も同時開催。

そして2月11日・12日には大阪でトークイベントも開催します。

もろもろの詳細はQRコードをご覧ください！

先月のベストセラーブック！

1 **美味しんぼの話をさせて！**
スカッシュ

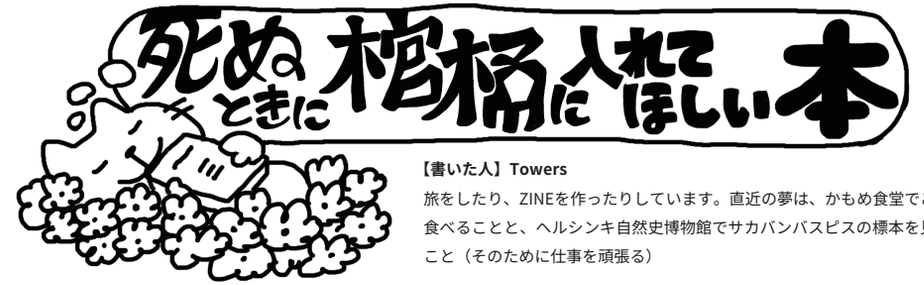
ランキング常連の美味しんぼファンブックが1位獲得！　特に40代のお客さんから熱い支持を受けています！

2 **ひょんなこと**
ネルノダイスキ（アタシ社）

3 **超個人的時間旅行**
藤岡みなみ

4 **コンピューターゲームのパチモノグッズコレクション2**
そうさめものミキさん

5 **地下街への招待　B2**　Towers



【書いた人】Towers

旅をしたり、ZINEを作ったりしています。直近の夢は、かもめ食堂でごはんを食べることと、ヘルシンキ自然史博物館でサカバンバスピスの標本を見に行くこと（そのために仕事を頑張る）

泊まりがけの旅行へ出かける際には必ず一冊、文庫サイズのエッセイ本を持って行く。カバンの中に入れても荷物にならないし、一つひとつのエピソードが短いので、どのページから読んでもいい。電車でうっかり寝落ちしても話が飛ばない。そんな気軽さが、旅の移動中にぴったりだと思う。片桐はいりさんの著書『わたしのマトカ』は、マイ・ベスト・旅のお供。映画『かもめ食堂』のロケのために訪れたフィンランドでの出来事を綴ったエッセイで、サルミアッキやリンゴンベリーソースなど未知の食べ物のこと、現地の人との温かい交流について語られている。飾らない言葉で紡がれた文章とエピソードの面白さが相まって、何度読んでも飽きない。特に好きなのが、“心も時差ぼけ”というタイトルの話。

日常で起こる些細な理不尽をするりとかわすための、はいりさんなりの解決法がとてもすてきなのだ。はいりさんは他にも『グアテマラの弟』『もぎりよ今夜も有難う』の2冊を出されているので、ぜひ読んでほしい。

旅の移動中と同じように、天国までの道中も、やっぱり自分はエッセイを読んで暇つぶししたいんじゃないだろうか。自分が死ぬまでに、せめてもう5冊ぐらい新刊を出してくれないかな〜と願いつつ、棺桶に入れるその日が来るまで、大切に傍に置いておきたい。

読者投稿コーナー
チャレンジ！自由律俳句

自由律俳句とは、季語や文字数に関係なく自由に綴った俳句のこと。難しそうだけどなんだか楽しそうでもある自由律俳句をみんなでやってみようというコーナーです。

例句

ローマ字を読むのが遅すぎる

古本に謹呈の紙

図書館の花が賢そう

（パスカ自由律俳句集『集金が来ない』より抜粋）

次回のテーマは…　本

ご応募はシカクのSNSへDM、
またはメールで shikaku@uguilab.com まで！

★広告募集★

シカク月報の読者にあなたの何かしらをアピールしませんか？
思いがけない未来が待っているかもしれません。

【発行部数】400部〜500部
【配布先】シカクの店舗・通販のお客さん、全国の配布協力店

●一口1000円
●W50mm×H95mm（このサイズ）
●個人でも企業でもOK
●時期が前後しても大丈夫な内容だと助かります

お申し込みは
コチラ→

https://forms.gle/HSMYMSk3XBV1rKL37